

第41回（2025年度）若手研究者のための健康科学研究助成受贈者一覧

a. 指定課題（1件、300万円を助成）

（五十音順・敬称略）

氏名	所属	研究テーマ
根本 裕太	神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科	eスポーツを用いた多因子介入プログラムの普及研究 —心身機能低下者ならびに社会経済的地位の低い高齢者を主要ターゲットとした地域介入研究—

b. 一般課題（12件、一律100万円を助成）

氏名	所属	研究テーマ
井原 康貴	愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター	日常歩数が生活習慣および認知症予防に及ぼす影響の検証 —全国規模リアルワールドデータを用いた研究—
大賀 亮也	鹿屋体育大学大学院 体育学研究科	骨格筋のトレーニング応答性を調節するプレコンディショニング微小筋収縮刺激の役割
大川 貴史	群馬大学大学院 保健学研究科	大規模保険者データによるリスク因子解明に基づく、個人に最適化されたメタボリックシンドローム発症予防プログラムの構築
柏木 光昭	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	レム睡眠の神経・分子メカニズム解明
神庭 瞳実	国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部門	自転車運動のエネルギー消費量はシティサイクルと電動アシスト自転車でどの程度異なるのか —実走速度および傾斜の変化とエネルギーコストの関係に着目して—
種子島 岳	東京大学大学院 医学研究科	ロコモティブシンドロームと脳構造の相互関連の解明 —大規模地域住民コホート10年間の追跡—
永井 裕崇	自治医科大学 医学部	運動習慣による認知レジリエンス増強の分子・神経回路基盤の解明
中島 華子	京都府立医科大学大学院 医学研究科	日本人に適した新たな標準BMIおよび体格指数の提案
橋本 紗希	福岡大学大学院 スポーツ健康科学研究科	地域在住高齢者における日常生活下の座位中断と認知機能および要介護認定の関連について —15年間の前向きコホート研究—
村本 勇貴	慶應義塾大学 医学部	高強度な運動に伴う疲労の可視化と水素ガス吸入による疲労の制御 —揮発性酸化脂質を用いた非侵襲的な手法の応用—
森下 久美	認知症介護研究・研修仙台センター 研究部	認知機能を考慮した高齢者の食嗜好評価 —Leeds Food Preference Questionnaire日本語版（LFPQ-J）の適用可能性—
横山 広樹	関西医科大学くずは病院 リハビリテーション科	通所系サービスを利用する要介護高齢者を対象としたピアサポート機能尺度の開発と支援モデルの構築 —支えられる側から支援し合う関係を目指して—

（所属は応募時のものを記載）